


この星に、たしかな未来を。

Dramatic Technologies

 **三菱重工**

株主通信

レポート 2008.6

証券コード 7011



株主の皆様には、平素より格別の御支援、御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は本年4月から、新たな中期経営計画である「2008事業計画」をスタートいたしました。

今回の「株主通信」では、この「2008事業計画」の概要と各事業のトピックスをわかり易くお伝えする内容としております。

この「株主通信」が、当社に対する御理解を深めていただく一助になれば、幸いです。

株主の皆様におかれましては、従来にも増して御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

取締役会長 **佃 和夫**
 取締役社長 **大宮英明**



取締役会長
佃 和夫

取締役社長
大宮 英明

2008事業計画策定について

当社は本年4月、グローバルな事業成長による世界のリーディングカンパニーの実現を目指した「2008事業計画」(3か年の中期経営計画)を策定いたしました。

平成18年度からスタートした「2006事業計画」では、収益基盤・ものづくり基盤の強化による収益の改善を軸に経営を進めた結果、好調な世界経済もあり、平成19年度の営業利益は1,360億円と、「2006事業計画」の目標を1年前倒しで達成することができました。

「2008事業計画」では、「2006事業計画」の成果を基盤に、次のPHASE(段階)として、グローバルな成長により、収益の拡大を目指します。

さらに、次期事業計画のゴールとなる平成24年度には、高収益体質を確立し、将来へ向けた、更なる飛躍を目指したいと考えます。

このように、当社の目指す姿の実現において、「2008事業計画」は極めて重要な位置付けにあります。

円高や資材費高騰など当社を取り巻く事業環境は厳しさを増しておりますが、世界的な地球環境対策の高まりにより、大きなビジネスチャンスも到来しております。

このチャンスを確実に捉え、全社一丸となって「2008事業計画」の達成に向けて邁進いたします。



副社長執行役員
江川 豪雄

副社長執行役員
福江 一郎



常務執行役員
菅 宏
(経理、資金及び資材担当)

常務執行役員
青木 素直
(技術本部長及び情報システム担当)

目次

- ごあいさつ 1
- 大宮社長
「2008事業計画」を語る 3
- 平成19年度 決算ハイライト 5
- 会社概要 6
- 事業情報
船舶・海洋部門 7
原動機部門 8
- 機械・鉄構部門 10
- 航空・宇宙部門 11
- 汎用機・特殊車両部門 12
- 冷熱部門 13
- 産業機械部門 14
- 海外拠点情報 15
- CSR活動 17
- 工場見学会のお知らせ 18

◆表紙絵画

巖流島から望む下関造船所
(手前は「武蔵・小次郎像」)



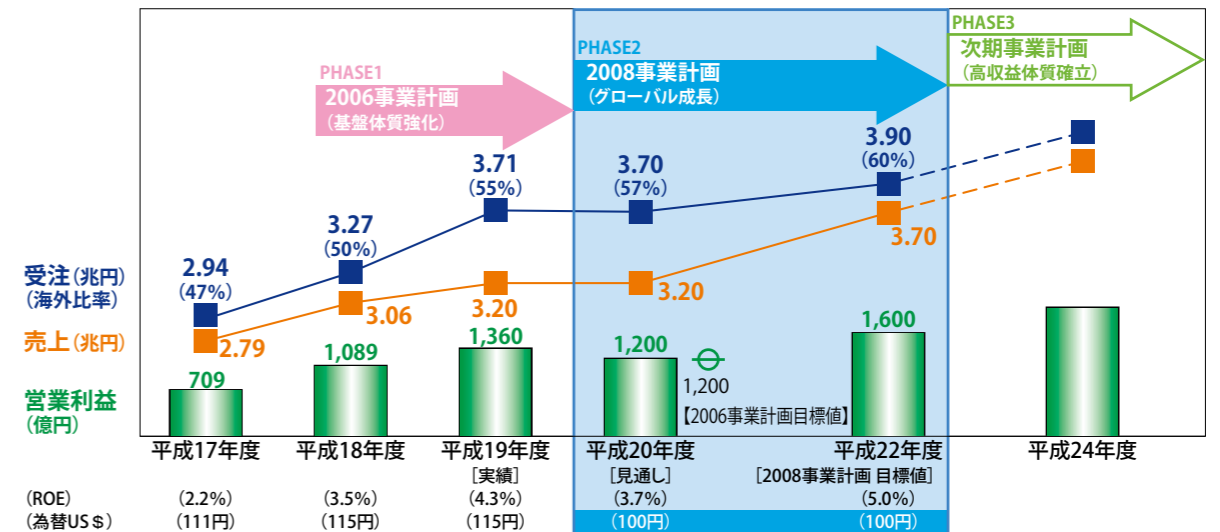
◆ホームページアドレス

<http://www.mhi.co.jp>

(注意事項)

本資料に掲載されている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。したがって、この業績見通しにのみを依拠して投資判断をくだすことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

【2008事業計画】 受注：生産能力を見極めつつ、海外事業を拡大 利益：為替100円/US\$で、右肩上がりの利益達成



大宮社長「2008事業計画」を語る

2008事業計画（平成22年度目標）

受注	3兆9,000億円
売上	3兆7,000億円
営業利益	1,600億円
経常利益	1,300億円



本年4月1日付で就任した大宮社長に、「2008事業計画」（3か年の中期経営計画）の内容と計画達成に向けた想いについて聞きました。

Q. 「2008事業計画」の基本方針について聞かせてください。

A. 「製品事業のグローバル成長」と「経営プロセス改革」の両輪での推進を基本方針としています。「製品事業のグローバル成長」は、ビジネスチャンスを生かし、カテゴリー別の事業戦略によりグローバルに成長・拡大を目指すものです。「経営プロセス改革」は、円高や原材料価格の高騰等厳しさを増すビジネスリスクに打ち勝つための事業体質の強化を目指すものです。

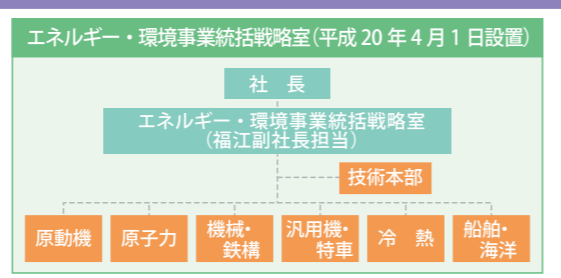
Q. 経営プロセス改革の具体的な取組みについて聞かせてください。

A. 従来から取り組んでいるものづくり革新活動は製造業にとって重要な課題であり、更に加速させてまいります。また、これまで多くの経験で蓄積された知見を結集させ、徹底した海外工事のリスクマネジメントの強化を行います。さらに、これまで以上に全社的な見地に立った事業運営体制を強化します。

この体制強化の具体的な取組みの一つとして、4月に、エネルギー・環境事業の全社戦略強化を目的に、社長直轄の組織としてエネルギー・環境事業統括戦略室を設置しました。

この戦略室の活動により、各事業本部で保有している様々な製品、技術を融合し、更に強化することで、新たなソリューションビジネスの拡大を目指してまいります。

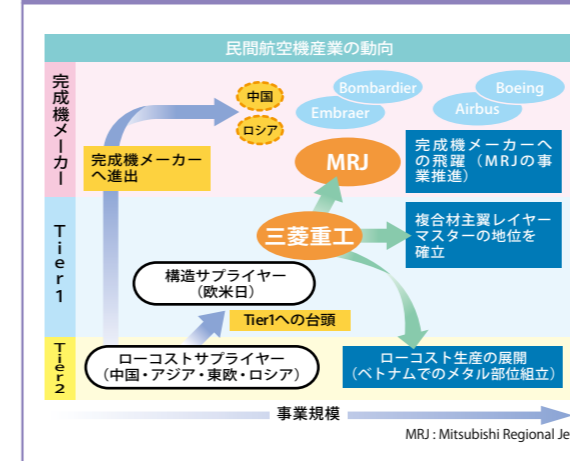
エネルギー・環境事業の全社戦略強化



Q. MRJ（三菱リージョナルジェット）の事業化について聞かせてください。

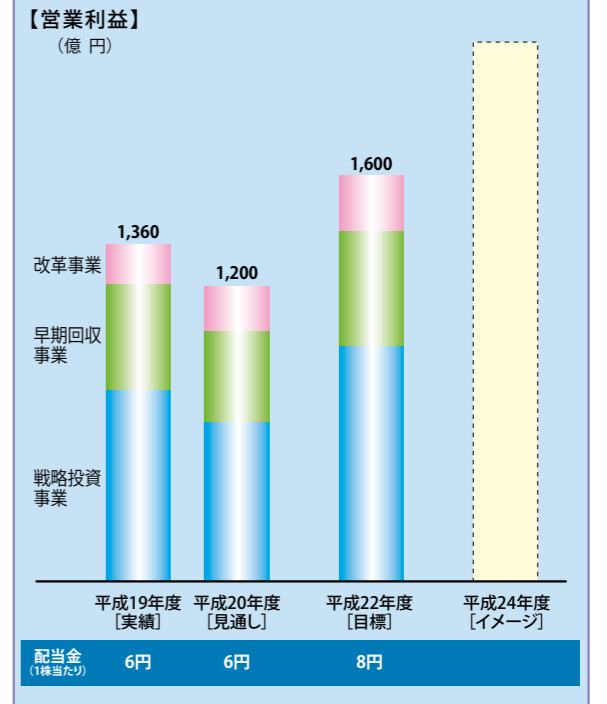
A. 民間航空機産業の構造は、完成機メーカー、一次下請（Tier1）、二次下請（Tier2）の階層に大きく分かれます。当社は、Tier1の立場で、ボーイング社向けプロジェクトを中心に、^(注)複合材主翼レイヤーマスターとしての地位を確立していくとともに、海外のローコストサプライヤーの活用も進めています。しかし、中国・ロシア等のローコストサプライヤーのTier1への台頭が急速に進みつつあり、長期的にはTier1だけでは、民間航空機事業の発展は困難となります。このため、本年3月にMRJの事業化を決定しました。リージョナルジェット機の市場では、今後20年間で5,000機以上の非常に大きな需要が見込まれています。MRJは、環境・乗客・エアラインへ従来にない新しい価値を提供する画期的な次世代ジェット機であり、ライバルメーカーとの競争に打ち勝つことができると考えています。当初数年間は初期開発費の負担が続きますが、将来は当社の収益の柱に成長する事業であり、2013年の初号機納入に向けて全力で邁進してまいります。

民間航空機事業の拡大に向けて、グローバル市場での地位を確立



(注) 複合材主翼レイヤーマスター：複合材主翼における世界一流の事業者

厳しい事業環境のもとでも、持続的な成長を実現



Q. 「三菱重工のここを変えたい、ここを見て欲しい」というところがあれば、聞かせてください。

A. 現在、配当は1株当たり年6円、配当性向は30%強であります。株主の皆様のご期待に応えるには、更に利益水準を上げなければいけないと考えております。今回の「2008事業計画」では、円高、資材費高騰等の影響もあり、厳しい事業環境であります。着実に持続的な成長を実現するという視点で、営業利益1,600億円の計画としております。厳しい事業環境の中で、世界の競合メーカーとの熾烈な競争に勝ち残るには、社内外の知見を結集させ、総合力を発揮し、軽快なフットワークでスピーディーに変革を推進することが重要であります。私自身が先頭に立って、「2008事業計画」に取り組んでまいります。

平成19年度 決算ハイライト

平成19年度連結決算（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

連結経営成績

◆ポイント:受注・売上・利益ともに前年度を上回る

受注：原動機、機械・鉄構、航空・宇宙部門を中心に増加。

売上：近年の好調な受注状況を反映し、機械・鉄構部門を除く各部門で増加。

利益：「2006 事業計画」の諸施策の推進による売上高の増加及び収益力の向上等により、前年度を上回る利益水準を確保。

	平成19年度 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	平成18年度 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)	対前年度 増減率	平成20年度見通し (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
受注高	37,152 億円	32,747 億円	13.5 %	37,000 億円
売上高	32,030 億円	30,685 億円	4.4 %	32,000 億円
営業利益	1,360 億円	1,089 億円	24.9 %	1,200 億円
経常利益	1,095 億円	830 億円	31.9 %	900 億円
当年度純利益	613 億円	488 億円	25.6 %	540 億円
1株当たり当年度純利益	18.28 円	14.56 円	25.6 %	16.09 円

(注)持分法投資損益

平成19年度 8,224百万円 平成18年度 8,662百万円

連結財政状態

◆ポイント:総資産が増加

総資産は、たな卸資産が増加したほか、原動機、航空・宇宙部門等の伸長事業への積極的な設備投資による有形固定資産の増加等により、前年度末から 1,252 億円増加。

	平成19年度末	平成18年度末	対前年度増減
総資産	45,171 億円	43,918 億円	1,252 億円
純資産	14,404 億円	14,464 億円	△ 60 億円
自己資本比率	31.4 %	32.5 %	△ 1.1 %
1株当たり純資産	423.17 円	425.54 円	△ 2.37 円

連結キャッシュ・フローの状況

◆ポイント:投資キャッシュ・フローが増加

営業キャッシュ・フロー：前年度から 31 億円増加。

投資キャッシュ・フロー：民間航空機やガスタービンをはじめとした積極的な設備投資等により、前年度から 344 億円支出増加。

フリー・キャッシュ・フロー：上記 営業、投資キャッシュ・フローの結果、前年度から 313 億円減少。

	平成19年度 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	平成18年度 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)	対前年度増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,618 億円	1,587 億円	31 億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,930 億円	△ 1,586 億円	△ 344 億円
フリー・キャッシュ・フロー	△ 312 億円	0 億円	△ 313 億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	712 億円	487 億円	224 億円
現金及び現金同等物の年度末残高	2,628 億円	2,275 億円	352 億円

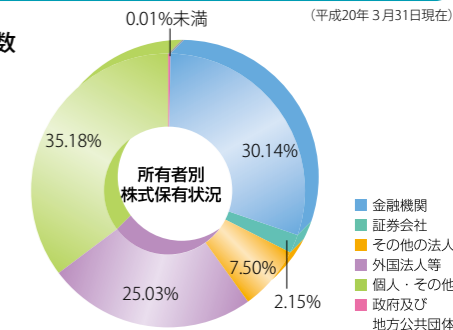
会社概要

概要

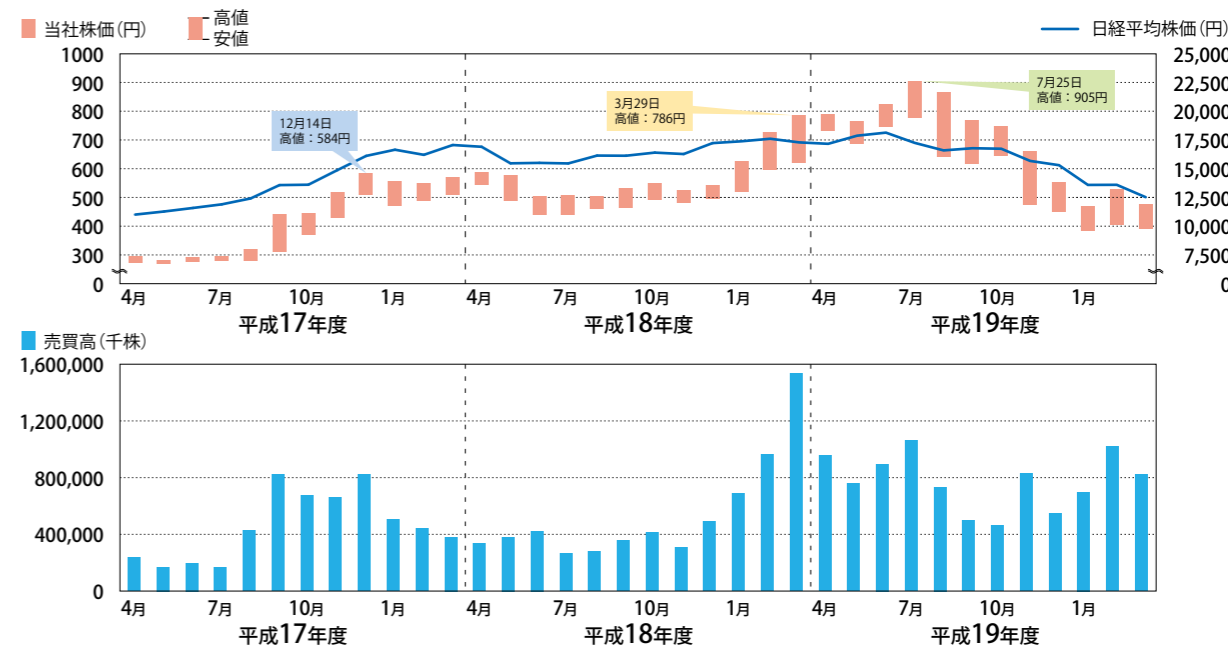
社名 三菱重工業株式会社
 本社 東京都港区港南二丁目 16 番 5 号
 〒108-8215 ☎03-6716-3111
 創立 明治 17 年 7 月 7 日
 設立 昭和 25 年 1 月 11 日
 資本金 265,608 百万円(平成 20 年 3 月 31 日現在)
 従業員数 33,089 名 連結：64,103 名
 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
 ホームページ <http://www.mhi.co.jp>

株式の状況

発行可能株式総数 6,000,000,000 株
 発行済株式総数 3,373,647,813 株
 株主数 360,820 名



株価・売買高の推移 (東京証券取引所)



配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間
平成18年度	3 円	3 円	6 円
平成19年度	3 円	3 円	6 円
平成20年度(予想)	3 円	3 円	6 円

船舶・海洋部門

	受注	売上	営業利益
平成19年度	3,536億円	2,839億円	40億円
平成20年度見直し	3,200億円	2,300億円	50億円
平成22年度目標	2,700億円	2,800億円	70億円

◆船舶・海洋事業本部

主要製品

- 新造船 (LNG船, LPG船, コンテナ船等)
- 修繕・改造船工事
- 海洋構造物
- 海洋開発機器
- 技術サービス・各種自動化システム



船舶・海洋事業本部長
飯島 史郎



LNG船 ALTO ACRUX

TOPICS

国内最大の1,200トン
ゴライアスクレーンを本格稼動

本年2月、長崎造船所香焼工場で、国内最大となる吊り能力1,200トンのゴライアスクレーンの据付けを完了、船舶用大型ブロックを吊り上げる本格稼動に入りました。高さ95.5m、幅185mの門型クレーンで、この稼動により、同工場の年間船舶建造能力は、工場建屋の増設などとも併せ、LNG船換算で現状の5隻から7隻に増強されます。



1,200トン ゴライアスクレーン

2008事業計画 活動方針

LNG船, LPG船, コンテナ船, 自動車運搬船, フェリー等の高付加価値船に特化し、技術力と生産性向上で安定収益を確保していきます。

ここが知りたい Q&A

Q.各造船所（長崎造船所、神戸造船所、下関造船所）のドック・船台は何年先まで埋まっていますか？

A.各造船所で異なりますが、概ね3年程度、埋まっています。

Q.技術力向上についての具体的な取組みは？

A.当社が建造する全ての船種において燃費性能改善を行います。また、タービン、ディーゼル、脱硝等の技術を有する原動機事業本部及び脱硫等の技術を有する機械・鉄構事業本部との連携により、環境規制に対応する技術的優位性を確実なものにしていきます。

Q.生産性向上の推進状況は？

A.当社が独自開発した3次元設計システムMATESの活用による生産プロセス改革と設備近代化による効率的な建造工法で、コスト競争力を強化していきます。

(注) MATES :

Mitsubishi Advanced Total Engineering system of Ship

原動機部門

	受注	売上	営業利益
平成19年度	12,149億円	9,469億円	582億円
平成20年度見直し	12,400億円	10,000億円	600億円
平成22年度目標	13,400億円	12,200億円	800億円

◆原動機事業本部

主要製品

- 火力発電プラント/コンバインドサイクル発電プラント
- 風力発電設備(風車) ●太陽電池
- 地熱発電プラント ●燃料電池
- 船用機械 ●船用ディーゼル
- 海水淡水化プラント ●ポンプ・水車
- 定置用ディーゼル・ガス機関



原動機事業本部長
伊 嘉章



ガスタービン M701G2形



2.4MW型風車



アモルファス型太陽電池

2008事業計画 活動方針

地球温暖化対策への世界的関心の高まりに対し、ビッグビジネスの実現を目指します。

具体的には、従来型火力から自然エネルギーへの転換加速により、事業規模・収益拡大を図るため、主要製品の開発加速や生産能力増強に積極的に取り組みます。

ここが知りたい Q&A

Q.ガスタービンの生産能力増強の状況は？

A.早急に30台/年体制を確立し、さらに他社とのアライアンス強化により、36台~50台/年体制を確立していきます。

Q.風車の需要拡大に対する対応策は？

A.今年度中に1200MW/年体制を構築します。さらに平成22年度までに大型原子力発電プラント1基分の発電出力に相当する1600MW/年体制を確立し、それ以降2600MW/年まで生産能力を拡大していきます。

Q.太陽電池の取組み状況は？

A.従来型のアモルファス型太陽電池の生産・供給を継続していくとともに、昨年市場に投入した新製品である高効率微結晶タンデム型太陽電池の増産を図っていきます。

TOPICS

天然ガス焼きGTCC3系列をフルターンキー契約で受注

本年2月、オランダのヌオン社(NUON N.V.)から、出力約130万kWのヌオンマグナム発電所向け天然ガス焼きガスタービン・コンバインドサイクル(GTCC)発電設備をフルターンキー契約で受注しました。当社がヌオン社からGTCCを受注するのは、1997年納入のアイモント高炉ガス焼きGTCCに続き今回が2度目。運転開始は2011年の予定です。

原動機部門

◆原子力事業本部

主要製品

- 原子力発電プラント
- 新型炉プラント
- 原子燃料
- 原子燃料サイクルプラント



原子力事業本部長
澤 明

新会社ATMEA設立



米国原子力規制委員会
(NRC)へUS-APWRの型式
証明を申請

2008事業計画 活動方針

世界的な地球温暖化対策の高まりにより、原子力発電のニーズも急速に拡大しており、このチャンスを生かし、「原子力総合カンパニー」として世界をリードします。

ここが知りたい Q&A

Q.三菱重工の強みは？

A.原子力プラントの研究開発から設計・製造・建設・保守まで一貫して行なえるとともに、新型プラント、原子燃料、原子燃料サイクルに至る原子力事業の全てに対応できる数少ないメーカーです。また長期にわたり、新規プラントや既設プラント主要機器取替工事に継続的に取り組むことで、人材・技術力の維持・強化を図ってきた強みを有しています。

Q.世界戦略炉の取組み方針は？

A.独自開発の大型戦略炉US/EU-APWR(170万kW級)を米国、欧州で拡販していきます。US-APWRは米国原子力規制委員会による型式証明審査が開始されています。また、中型戦略炉ATMEA1(110万kW級)の共同開発を加速し、東欧・アジア等に拡販していきます。さらに、小型戦略炉PBMR(17万kW級)のデモ機の南アフリカでの建設に向けて、当社は主要機器の開発を担当しています。

Q.国内原子力発電プラントの推進状況は？

A.来年12月の運転開始に向け建設中の北海道電力(株)泊3号機に加え、日本原子力発電(株)敦賀3/4号機等の新設プラントの具体化を推進していきます。既設プラントは、大型機器取替え等の予防保全を中心に、安定運転・設備稼働率の向上を支援してまいります。

TOPICS

110万kW級最新型原子炉のための
新会社 ATMEA をフランスに設立

昨年11月、当社と仏AREVA社は、新しい原子力発電プラント事業のための新会社「ATMEA」を設立いたしました。「ATMEA」は、両社が持つ最新の技術を反映したグローバルマーケット向け第3世代原子炉「ATMEA1」の開発を進めるとともに、今後の拡販に向けたマーケティング、各種許認可の取得、受注活動を推進していきます。



110万kW級原子力
プラント ATMEA1
(イメージ図)

機械・鉄構部門

	受注	売上	営業利益
平成19年度	5,573億円	4,725億円	113億円
平成20年度見通し	5,200億円	4,900億円	140億円
平成22年度目標	5,600億円	5,400億円	150億円

◆機械・鉄構事業本部

主要製品

- 交通システム
- 環境・化学プラント
- コンプレッサ
- 製鉄機械
- 先端製品
- 自動車関連製品
- 鉄構製品
- 廃棄物処理プラント



機械・鉄構事業本部長
宮永 俊一

2008事業計画 活動方針

事業構造改革の継続と成長事業（コンプレッサ、交通システム、製鉄機械、化学プラント）の強化により、収益を拡大していきます。

ここが知りたい Q&A

Q.昨年度、収益が改善した理由は？

A.主な要因としては、橋梁・廃棄物処理プラント等の事業会社化による事業構造改革の推進、受注入口管理強化による不採算工事の解消、設計標準化によるコスト削減等を行ってきた成果によるものです。

Q.三菱重工の交通システムの強みは？

A.当社は新規建設路線の全体システム取りまとめに強みがあり、車両、信号、電力設備、軌道などの個別技術を統合して、高いレベルの安全性、信頼性を実現しています。APM(ゴムタイヤ式新交通)や全自動無人運転システムでは、世界的にもトップクラスです。

Q.CO₂関連ビジネスの取組み方針は？

A.当社はCO₂回収技術を保有しており、回収したCO₂を化学原料とするプラントで実績を重ねており、今後はCO₂を油田に注入して原油増産に役立てるプロジェクト等に積極的に取り組んでいきます。



LRV(軽量軌道交通用車両) グリーンムーバーmax



ETC車載器 MOBE-401

TOPICS

がんの最新鋭治療装置の
本格製造・販売事業を開始

本年1月、放射線治療装置の本格的な製造・販売事業を開始いたしました。がん患部の位置を正確に把握し、ピンポイントで放射線を照射できる最新鋭の医療装置で、健全な身体組織への放射線障害を回避できるなど、これまでの装置と比べて高精度ながん治療が簡便に行えることを特徴としております。



放射線治療装置 MHI-TM2000

航空・宇宙部門

	受注	売上	営業利益
平成19年度	6,158億円	5,005億円	146億円
平成20年度見通し	6,300億円	5,000億円	△40億円
平成22年度目標	6,400億円	5,700億円	50億円

◆航空宇宙事業本部

主要製品

- 航空機
- 航空機用エンジン
- 誘導機器
- 宇宙機器



航空宇宙事業本部長
川井 昭陽



H-IIAロケット13号機

2008事業計画 活動方針

BMD (弾道ミサイル防衛), 次期戦闘機, ボーイング 787, MRJ, H-II B ロケット等の大型プロジェクトを成功させ, 世界に飛躍する航空機メーカーを目指していきます。

ここが知りたい Q&A

Q.MRJの強みは?

A.MRJは, 環境・乗客・エアラインへ従来にない新しい価値を提供する画期的な次世代ジェット機です。具体的には主翼と尾翼に複合材を採用し, 機体の軽量化を図るとともに, 新型エンジンの搭載や最先端の空力設計などの最新技術で, 燃費の大幅な低減と低騒音を実現できることを強みとしています。

Q.H-IIAロケットの打上げ予定と商業衛星の受注予定は?

A.今年度は宇宙航空研究開発機構の温室効果ガス観測技術衛星「GOSAT」を打ち上げます。商業衛星打上げについても, 世界中の衛星オペレーター, 衛星メーカーと交渉を行っています。

TOPICS

MRJの事業化を決定

本年 3 月, MRJ (三菱リージョナルジェット) の事業化に乗り出すことを決定いたしました。MRJ 事業を担う新会社「三菱航空機株式会社」において, MRJ の開発を加速するとともに, 世界各国のエアラインへの販売活動を一層強力に展開していきます。



MRJ イメージ

汎用機・特殊車両部門

	受注	売上	営業利益
平成19年度	4,652億円	4,744億円	208億円
平成20年度見通し	4,600億円	4,600億円	200億円
平成22年度目標	5,200億円	5,200億円	220億円

◆汎用機・特車事業本部

主要製品

- 物流機器(フォークリフト等)
- エンジン
- ターボチャージャ
- 建設機械
- 特殊車両



汎用機・特車事業本部長
吉田 雄彦

2008事業計画 活動方針

主要3製品であるフォークリフト, エンジン, ターボチャージャの需要急拡大へのタイムリーな対応で, 収益の早期確保を図っていきます。

ここが知りたい Q&A

Q.フォークリフトの重点施策は?

A.工場物流効率化, 物流ロット小口化で, 先進国の屋内物流機器の需要が拡大しており, アライアンスの強化で品揃えを強化します。また, 新興市場の物流量の増加で, エンジン車の需要も拡大しており, 米国のグループ会社で中南米向け生産を開始するなど, 既存工場のリソースを有効活用することで対応していきます。

Q.小型ディーゼルエンジンの生産能力増強の状況は?

A.中国やロシアなどの新興国向けの需要が急拡大しており, 今年度末までに年間20万台の生産体制を構築します。

Q.自動車用ターボチャージャの装着メリットは?

A.欧州では, 排ガス規制強化に伴い, ターボチャージャの装着車が増加しています。ターボチャージャの装着により, エンジンを大型化せずに出力をアップし, 低燃費・高効率化を図ることが可能です。



バッテリー式フォークリフト ELDiA



小型ディーゼルエンジン FDシリーズ



自動車用
ターボチャージャ

TOPICS

小型ターボチャージャ
2011年度までに年産690万台体制へ

排ガス規制の広がりを背景に, ターボチャージャの需要が急増しており, 生産能力を現状の年間 360 万台からほぼ倍増し, 2011 年度までに 690 万台の生産体制を構築します。そのため, ワールドワイドな販売・生産を統括する汎用機・特車事業本部 (神奈川県相模原市) に専用工場を置き, また, タイには新たな生産拠点を設立, オランダの工場の拡充も行って, 日・欧・アジア 3 拠点を軸とするグローバルな顧客対応体制を確立します。



タイ生産拠点 イメージ

冷熱部門

	受注	売上	営業利益
平成19年度	2,121億円	2,118億円	62億円
平成20年度見通し	2,100億円	2,100億円	60億円
平成22年度目標	2,300億円	2,300億円	80億円

◆冷熱事業本部

主要製品

- 業務用空調機
- 住宅用空調機
- 車両用空調機
- 応用冷機
- 輸送用冷凍機
- 大型冷凍機



冷熱事業本部長
東間 清信

2008事業計画 活動方針

海外での受注拡大を中心に、収益を確保していきます。

ここが知りたい Q&A

Q.冷熱事業全体の具体的な取組み方針は？

A.空調機は、欧州・中国市場を中心に事業拡大を進めていきます。また、カーエアコン、輸送用冷凍機、大型冷凍機なども、高性能商品を国内外の顧客に拡販することで事業拡大を狙い、冷熱事業全体として、グローバル展開を目指していきます。

Q.業務用エアコンの取組み状況は？

A.海外メーカーよりも技術的な優位性があり、今後の伸長が期待されるマルチエアコン市場での拡販を図ります。このため、当社代理店への技術・サービスサポートを更に強化すべく、欧州ではサービス・テクニカルセンターを新設いたします。

Q.ターボ冷凍機の重点施策は？

A.ガスタービン技術を駆使した世界最高水準の効率で、国内市場トップシェアを堅持するとともに、世界標準機で輸出を拡大していきます。



店舗・オフィス用エアコン
ハイパーインバータシリーズ



陸上輸送用冷凍ユニット
Sシリーズ TDJS40D

TOPICS

インバータ搭載のターボ冷凍機
「ecoターボETIシリーズ」6機種を発売

本年5月、インバータを冷凍機本体に搭載し、クラス最高レベルの省エネルギー性能を発揮するターボ冷凍機「ecoターボETIシリーズ」の発売を開始しました。



ターボ冷凍機 ecoターボETIシリーズ

産業機械部門

	受注	売上	営業利益
平成19年度	2,243億円	2,272億円	129億円
平成20年度見通し	2,300億円	2,300億円	130億円
平成22年度目標	2,600億円	2,600億円	170億円

◆紙・印刷機械事業部

主要製品

- 印刷機械
- 紙工機械



紙・印刷機械事業部長
和木坂 史生

2008事業計画 活動方針

中国・インド・中東等の新興市場や未参入地域へ枚葉印刷機の輸出を拡大していきます。

ここが知りたい Q&A

Q.枚葉印刷機のマーケットシェアの目標は？

A.新興市場や未参入地域への拡販と既存市場への新製品投入を行い、世界シェア15%（現状約10%）を確保し、世界第2位グループのメーカーへの躍進を目指します。

◆工作機械事業部

主要製品

- 汎用工作機械
- 専用工作機械
- 歯車工作機械
- 精密切削工具
- エンジンバルブ
- 動力伝導装置



工作機械事業部長
渡部 健

2008事業計画 活動方針

中国・インド・東南アジア・北米へ歯車および大形汎用工作機械の輸出を拡大していきます。

ここが知りたい Q&A

Q.歯車工作機械のマーケットシェアの目標は？

A.輸出対応力の強化と品揃えの強化を行い、世界シェア25%（現状約20%）を確保し、世界トップシェアのメーカーへの躍進を目指します。

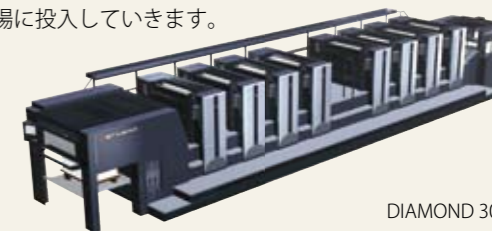
◆産業機器関連

- 射出成形機
- 食品機械
- 業務用洗濯機/産業用ロボット

TOPICS

枚葉印刷機DIAMONDシリーズの新モデル3機種を投入

枚葉印刷機「DIAMOND」シリーズの新モデル3機種を開発、本年5～6月にドイツ・デュッセルドルフ市で開かれた国際総合印刷機材展「drupa2008—print media messe」に出品しました。同モデルは稼働率のアップを徹底的に追求した印刷機であり、今後順次市場に投入していきます。



DIAMOND 300R

TOPICS

航空機のアルミ部品加工にパワーを発揮「MVR30S-5H」を投入

主力製品であるMVRシリーズに、航空機のアルミ部品加工に特化したNC同時5軸制御のMVR30S-5Hを加え、本年4月に市場投入しました。



MVR30S-5H

海外拠点情報

当社では、各国に広がる海外事務所・駐在員事務所・海外グループ会社が活動を展開しており、全世界のニーズに応えるため、生産拠点・サービスネットワークの拡大を地球規模で進めています。今回は、中国の拠点にスポットを当てて、紹介いたします。

中国での事業展開

かつては、日本国内からの輸出が中心でしたが、平成15年以降は、「中国企業との協業により製品を生産し、顧客に提供することで中国に貢献を図る」という中国との共生をテーマにし、現地の中国企業との合併での事業展開を推進しています。現地拠点数は27箇所、従業員数は約4,600名です。



海外戦略本部長
斉藤 卓美

● 現地法人
(現地法人の事務所等を含む)
平成20年4月1日現在

三菱重工業株式会社 中国総代表

● 事業概要

当社の中国事業の中核として、現地グループ会社への支援等、事業部門の中国進出への全面的なサポートを実施しています。

- 沿革 平成17年7月設立
- 所在地 北京



北京三菱重工北人印刷機械有限公司

● 事業概要

中国最大手の印刷機械メーカーである北人印刷機械との合併で設立。小型枚葉機の組立と販売を行っています。

- 沿革 平成18年6月設立
- 主要株主 当社51%
北人印刷機械49%
- 資本金 46.0百万人民币
- 所在地 北京



三菱重工海爾(青島)空調機有限公司

● 事業概要

中国最大手の家電メーカーである海爾集团公司との合併で設立。業務用エアコンの生産と販売を行っています。

- 沿革 平成5年8月設立
- 主要株主 当社55%
海爾集团公司45%
- 資本金 127.7百万人民币
- 所在地 青島



三菱重工東方ガスタービン(広州)有限公司

● 事業概要

中国大手の重電機器メーカーである東方タービンとの合併で設立。ガスタービン高温部品(動静翼、燃焼器)の製作・販売、アフターセールス・サービスを行っています。

- 沿革 平成16年7月設立
- 主要株主 当社51%
東方タービン49%
- 資本金 202.7百万人民币
- 所在地 広州



CSR活動

当社では、CSRを経営の基軸に据えて事業活動を行っています。引き続き、CSRの推進により、社会からの高い信頼性の確立を目指していきます。



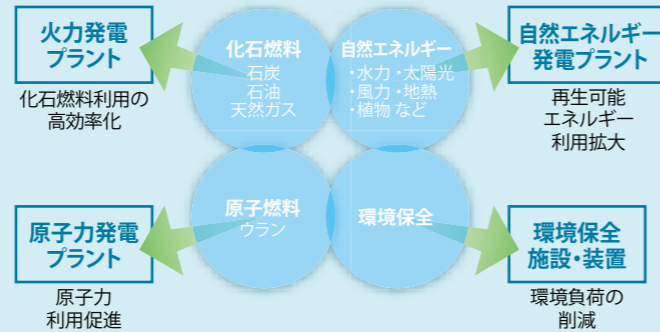
常務執行役員 安田 勝彦
(内部監査, CSR推進, 総務及び法務担当)

1. 生産活動を通じたCSRの遂行

当社は、「ものづくり企業」として、生産活動を通じて、社会に貢献することを基本としています。具体的には「エコエナジー製品」などの提供に加え、この生産活動を通じて発生する環境負荷をゼロエミッションやCO₂排出量削減活動などによって極小化するとともに、確固たる収益を上げ、ステークホルダーの皆様や当社の成長のために最適配分していくことを目指しています。

(注)エコエナジー=エコロジー+エコノミー+エネルギー

地球温暖化問題の解決に貢献する三菱重工のエコエナジー製品



2. CSR活動を通じた企業風土改革

CSR行動指針に基づく具体的な活動の実施により、企業風土改革に取り組んでいきます。

三菱重工グループ CSR行動指針 (平成19年7月制定)

わたしたちは、この地球にたしかな未来を実現するために、

- **地球との絆** 緑あふれる地球を環境技術と環境意識で守ります。
- **社会との絆** 積極的な社会参画と、誠実な行動により、社会との信頼関係を築きます。
- **次世代への架け橋** 夢を実現する技術で、次世代を担う人の育成に貢献します。

具体的な活動事例

地球との絆

各事業所への
太陽光発電システムの導入



紙・印刷機械事業部 和田沖工場

社会との絆

地域住民の進水式見学ツアー



下関造船所

次世代への架け橋

出前理科授業
“wakamaru”先生プロジェクト



高槻市立第六中学校

工場見学会のお知らせ

第8回株主工場見学会を下記のとおり下関造船所(山口県下関市)で開催いたします。多くの皆様の御応募をお待ちしております。

見学会概要

- **見学会場** 下関造船所(山口県下関市)
当造船所は、関門海峡に面した立地条件を生かしてフェリー・特殊船・高速船等多彩な船と油圧技術をキーにした各種産業機械、航空機部品等様々な製品を製作しています。
- **開催日時** 平成20年9月12日(金) 13:30~17:00(予定)
- **対象者** 当社株主の方(同伴者1名様まで可)
- **集合、解散** JR下関駅
- **参加費** 無料(ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自の御負担とさせていただきます。)



応募要領

- **応募方法** 右記のとおり郵便はがきに必要事項を御記入の上、御応募ください。
- **締切日** 平成20年7月14日(月)(当日消印有効)
- **募集人数** 80名様(同伴者を含む)
※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者への御連絡(8月中旬発送予定)をもって代えさせていただきます。
その際、当日の運営等詳細を合わせて御連絡いたします。
※御応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。
※御見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程工場内をお歩きいただくこともございますので御了承ください。
なお、御高齢の方及び小学生以下の方の御参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

郵便はがき		●郵便番号
50円切手	1088215	●住所
三菱重工(株) 総務部文書課 工場見学会係行		●電話番号
		●氏名 (ふりがなを御記入ください。)
東京都港区港南 二丁目16番5号		●性別
三菱重工(株) 総務部文書課 工場見学会係行		●年齢
		●同伴者の氏名、性別、年齢、住所

あて名面

裏面

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 総務部 文書課 電話番号:03-6716-3111(大代表)
8:45~17:30(土・日、祝祭日、当社休日を除く)

株主メモ

■決算期 …… 3月31日

■定時株主総会

開催期 …… 6月下旬

■基準日 …… 定時株主総会議決権行使株主確定日：3月31日

期末配当金支払株主確定日：3月31日

中間配当金支払株主確定日：9月30日

その他の基準日：上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定

■公告方法… 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

※電子公告掲載ウェブサイト <http://www.mhi.co.jp>

■単元株式数 …………… 1,000株

■株主名簿管理人 …… 三菱UFJ信託銀行株式会社

■名義書換取扱場所… 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先及び電話照会先)

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

☎ 0120-232-711 (通話料無料)

■名義書換取次所 …… 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

株式についての各種手続き

名義書換、住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・買増請求（単元未満株式買取請求・買増請求制度について以下で御案内しておりますので御参照ください。）及び相続の各種お手続きは、上記名義書換取扱場所及び名義書換取次所において取り扱っております。なお、各種お手続きに必要な用紙については、以下の電話番号からも御請求いただけます。

専用ダイヤル **0120-244-479** (24時間・音声自動応答・通話料無料)

～単元未満株式（1株～999株）買取請求・買増請求制度の御案内～

●単元未満株式買取請求制度

御所有の単元未満株式を処分したい場合、当社に対して、単元未満株式の買い取りを御請求いただくことができます。お手続き用紙（「単元未満株式買取請求書」）を作成の上、株券*及び必要書類を添えて、上記名義書換取扱場所又は名義書換取次所あてに御提出ください。

●単元未満株式買増請求制度

御所有の単元未満株式を1単元株式（1,000株）にしたい場合、当社に対して不足する数の株式の買い増しを御請求いただくことができます。お手続き用紙（「単元未満株式買増請求書」）を作成の上、株券*、買増概算金及び必要書類を添えて、上記名義書換取扱場所又は名義書換取次所あてに御提出ください。なお、9月30日及び3月31日から起算してそれぞれ12営業日前から当該日までの間はお取扱いができませんので御留意ください。

*登録株式の場合は、株券の提出は不要です。

(御注意)

①お手続きの詳細の御照会は、下記株主名簿管理人あてにお願いいたします。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

②証券会社等を通じて証券保管振替機構に株券を預託している方は、当該証券会社等を通じてお手続きください。

三菱みなとみらい技術館への御招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らます場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館は、平成6年の開館以来、計130万人以上のお客様をお迎えしています。宇宙、海洋、環境・エネルギー等をテーマとした様々なゾーンで、参加体験型の展示をお楽しみください。

◆皆様の御来館をお待ちしております。

所在地：横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号

三菱重工横浜ビル

アクセス：JR線/横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩8分

みなとみらい線「みなとみらい駅」

けやき通り口から徒歩3分

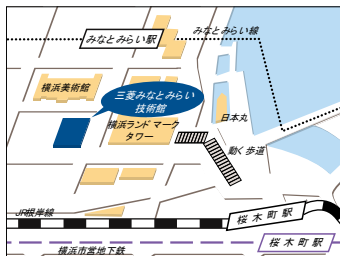
開館時間：午前10時～午後5時30分（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（但し、月曜日が休日の場合は翌日）

年末年始及び特定休館日（9月8日～12日）

お問い合わせ先：電話番号 045-224-9031

ホームページ：<http://www.mhi.co.jp/museum/>



ドイツの国際産業映像祭で 子供部門の大賞を受賞

本年5月に開催されたドイツの国際産業映像祭において、館内の3Dシアターで上映中の立体CGアニメーション、『進め！ナノテク医療隊：Dr.ミライ & ロボ！』が子供部門の大賞を受賞しました。



 三菱重工業株式会社



三菱みなとみらい技術館御招待券
有効期限 平成26年11月30日
本券を厳密に管理してください。
(同伴者3名様まで有効)